

令和 7 年度 施策評価表

施策	2001 環境保全の推進	施策担当部	市民環境部	部長	石山 光昭
		施策担当課	環境保全課	課長	白石 勝己
施策の方針	地球温暖化対策を推進するとともに、豊かな自然環境の保全や自然を活かした環境教育に努める。				
関連するSDGsのゴール					

【DO（実施）】

後期基本計画（令和3年度～令和7年度）における数値目標

指標名	単位	基準値 (R1)	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R6年度	
			R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	達成率	進捗率
① 市の公共施設における温室効果ガス排出量	t-CO2/年	29,103	28,812 20,186	28,521 22,103	28,320 27,955	27,939 30,320	27,648	92.1%	91.2%
② 大村湾のCOD値	mg/L	2.0	2.0 2.4	2.0 2.0	2.0 2.3	2.0 2.5	2.0	80.0%	80.0%
③ 環境講座・イベントへの参加者数	人/年	977	1,000 510	1,000 494	1,000 491	1,000 590	1,000	59.0%	59.0%
④									
⑤									

施策達成状況の説明

- ①市公共施設からの温室効果ガス総排出量は、前年度比8.46%の増、基準年度(令和元年度)比も4.18%の増となり、令和6年度目標値は達成できなかった。
※令和3年度は、環境センター火災により一般廃棄物の焼却量が大幅に減少している。
- ②大村湾のCOD値(化学的酸素要求量)は、測定地点17か所のうち、環境基準適合となった地点は減少(適合地点が1か所から0か所)となり、平均値は2.5mg/Lで目標値2.0mg/Lを達成することができなかった。
- ③令和6年度は、新たな取組としてエコフェスタおおむらを開催し400名の参加があったが、目標値を達成できなかった。

施策経費

(単位:千円)		R6年度 決算	R7年度 予算	R8年度 見込	特記事項
内訳	事業費	50,542	77,910	38,112	
	国庫支出金	0	31,664	0	
	県支出金	22,959	22,114	22,027	
	地方債	0	0	0	
	その他	21,862	5,132	5,172	
	一般財源	5,721	19,000	10,913	
	人件費	12,365	15,412	—	
フルコスト	62,907	93,322	—		

施策の概要（細施策）

200101	地球温暖化対策の推進	市民・事業者・行政が一体となって地球温暖化対策を推進するため、家庭生活や企業活動における省エネルギー活動の普及啓発や建築物の省エネルギー化を促進します。 また、公共施設については、再生可能エネルギー等の導入や活用を促進するとともに、市民や事業者に対し、普及啓発を行います。
200102	豊かな自然環境の保全	大村湾や多良山系などの豊かな自然環境を守るため、水源かん養機能や土砂災害防止機能などを持つ森林・農地の保全を推進します。 また、県、大村湾流域市町等で組織する「大村湾をきれいにする会」との連携を図りながら、大村湾の環境保全に努めます。
200103	環境保全意識の醸成	市民や事業者が環境についての理解を深め、自発的な環境保全活動の実践につながるよう、啓発を行うとともに、大村湾や多良山系など、自然環境を活かした環境学習を開催します。

【CHECK (評価) 施策担当部長】

施策を達成する上での問題点・課題

(地球温暖化対策の推進)
 ・市公共施設における温室効果ガスの排出量は、30,320t-CO2/年。今後もゼロカーボンシティ大村の実現に向け、公共施設等の建て替え、新築、増改築時等において積極的に再生エネルギー等の導入や省エネルギーの推進を行う必要がある。

(豊かな自然環境の保全)
 ・大村湾の浄化対策は、県が中心となって様々な施策を推進しているが、大村湾の測定地点17か所全ての地点でCOD値が基準値(2.0mg/L)超過しており、貧酸素水塊等も毎年発生している状況にある。

(環境保全意識の醸成)
 ・小中学生については、環境学習を新たに設けることは学校とのニーズが一致しない限り、限られた授業数の中で取り組むことは難しい。夏休み期間中に実施する大村湾ウォッチング等は、屋外で行うイベントのため天候、海や川の状況に左右されるとともに、気候変動による熱中症対策を行う必要がある。また、ライフジャケットの着用など、安全性の確保の必要がある。

【ACTION (改善・改革)】

上記の問題点・課題を踏まえた事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方

(カーボンニュートラルの推進)
 ・公共施設における温室効果ガスの総排出量の削減に向けエネルギー使用料の「見える化」や長崎県が推進しているデコ活の普及に取り組んでいく。
 ・太陽光発電設備や蓄電池設備の設置費用の一部補助や電動アシスト自転車の購入費補助を引き続き実施する。

(豊かな自然環境の保全)
 ・県や沿岸5市5町等で構成する大村湾をきれいにする会(会長:大村市長)で、引き続き環境省、農林水産省、国土交通省に対し、貧酸素水塊の改善、海洋生物の生息環境の改善等の具体的な対策について要望を行う。

(環境保全意識の醸成)
 ・教育委員会等と連携をとり、対象となる小学生によりわかりやすく、内容を深めた環境学習を行う。
 ・「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、ごみ減量化やリサイクル、地球環境保全への理解を深めることを目的に、「エコフェスタ」を開催する。

令和8年度新規事業

	事業名	担当課	令和8年度見込	対象・事業概要など
			事業費(千円)	
1				
2				
3				
4				
5				